

MINATOビジョン・タウンフォーラム  
防災・危機管理グループ（第5グループ）

会議録（第3回）

■開催日時・場所・出席者

日時：令和7年10月16日(木)18時30分～20時30分

会場：港区役所9階914会議室

メンバー：12名(欠席者3名)

【内訳】対面参加：10名、オンライン参加2名

事務局：企画課グループ担当2名、防災危機管理室3名、委託事業者2名

■次第

( 開 会 )

1 事務局より連絡

2 検討テーマに関する議論

・全体の将来像について

・分野別の将来像について

3 事務局より連絡

・報告会案内等

( 閉 会 )

■配付資料

資料1 第3回グループ会議進行資料

資料2-1 区全体将来像案

資料2-2 分野別将来像案

資料3 MINATOビジョン・タウンフォーラム報告会について

■貸与資料

なし

## ■会議要旨

(開会)

リーダーより、第3回グループ会議開催にあたっての挨拶及び開会宣言が行われた。

### 1 事務局より連絡

### 2 検討テーマに関する議論

・全体の将来像について

(主な意見等)

【港区のこれまで】

参加者：7グループの検討結果のまとめにも防災の要素を反映してほしい。

参加者：全体像が美しく、現状の港区のままでもいいのではないかと。我々が議論する意味もないのではとってしまう。高齢者の孤立の問題など、これまでにあった問題に触れていない。1行でもいいからマイナスの部分、問題について触れたほうが良いと思う。

参加者：「これまで」と「これから」の記載はあまり変わらない。「これから」も「これまで」どおりとなるのかとってしまう。

参加者：港区らしさがない。どの地域でも同じことが言える。

参加者：文章が明るすぎると思う。例えば、地価高騰により人が住めなくなっているという問題があるのに、文章では反映されていない。また、「鉄道発祥の地として交通網が充実」とあるが、場所が良いから交通網が充実しているだけで、鉄道発祥の地だからとは言えないのではないかと。文章を変えたほうが良いと思う。

参加者：港区では集合住宅が9割を占めており、港区としてモデルを作る必要がある。また、予定されているタワーマンションの建設が多くある。それらの問題に対する危機感が将来像に反映されていないように感じる。

参加者：「これまで」の部分ではこれまでがすべて進歩だったかのような内容になっているが、発展しすぎたことによる問題もある。ポジティブなことだけではない。

参加者：発展性と人材の多様性があるからこそ地域コミュニティが失われるリスクもあると考える。

【2040年代の港区の将来像】

参加者：「地域から世界へ広がるまち」に防災の観点も入れたほうが良いと思う。

参加者：国際都市として「減災」が重要であると考えている。

参加者：「これまで」と「将来像」の内容がほとんど同じになっている。これまでグループで話していた新しい内容を加えたい。

参加者：将来像を語るには防災・犯罪などについても語る必要があると考えているが、将来像はポジティブな内容だけになってしまっている。防災・危機管理の要素が入っていない。

参加者：「最先端」ではなくより具体的な言葉（例えば、通信技術やAIなど）で記載したほうがわかりやすいのではないかと。最終的に区民が見るものであるため。

参加者：右上がりの時代であれば問題ないが、現在の日本はそうではないので、文章の修正を検討してほしい、ネガティブな記載も斬新でいいのでは。衰退していく時代の将来像としてふさわしくないと思う。

参加者：ネガティブな内容を避けた記載となっているが、それらを乗り越えた港区であってほしいと考える。

参加者：課題に対する言及がないため、ストーリー性に欠けている。また、「世界」の言葉が多く出るが、区の将来像としてもう少し地に足をつけたほうがいいと思う。

参加者：外から訪れる人だけではなく、住んでいる人も今後の30年も住みやすいと思うまちになっている必要があると考える。

参加者：港区から新しいトレンドを出すことが重要であると考えます。

参加者：トップランナー、世界へと広がる架け橋など、具体性がないワードが目立つ。

### ・分野別の将来像について

(主な意見等)

#### 【将来像案】

参加者：「通信技術の発展」と「地震予測の精度」が繋がっていないのではないか。また、「緊急物資の輸送」も通信技術ではなく訓練などのほうが効果的なのではないか。

参加者：火災やその他の災害も含めて検討してきたにもかかわらず、将来像では「地震」だけピックアップされている。

参加者：「テクノロジーの発展により様々な災害の予測ができていく」の修正も一つの案と考えている。また、緊急輸送がきちんと計画され、何かがあった際に輸送ができていくような表現に変えると良いと考える。

参加者：将来像に危機感が感じられない。

参加者：港区では在宅避難が基本となっているため、その中での避難所の位置づけを明確にしてほしい。また、在宅避難のため、区によるマンションの防災機能の強化も重要であると考えます。

参加者：技術の発展は港区だけではなく全国共通であり、港区らしさがない。

参加者：テクノロジーだけではなく、制度や人々の教育・意識改革なども重要であると考えている。テクノロジーだけで救われるわけではない。

参加者：まとめの内容のほうがグループの議論が適切に反映されているのではないかと。

参加者：「テクノロジーが暮らしを守るまち」は変えたほうがいいのではないかと。テクノロジーはあくまでも利用するものであり、人間の活動、地域の支え合いのほうが重要である。

参加者：テクノロジーが一番上に来ていると一番重要であるという見え方になってしまう。「コミュニティで助け合うまち」が一番上に持ってきたほうがいいのではないかと。

参加者：区民が主体の内容となっているが、住民だけではなく、警察や行政の助けも必要と考える。「人々を支える強いまち」にそのニュアンスも入れてほしい。

参加者：「人々を支える強いまち」と「コミュニティで助け合うまち」は内容が重複しているのではないかと。「基盤・インフラ」と「コミュニティ・助け合い」に分けたほう

がいいのではないか。「まとめ」のページと同じ分類にしてほしい。

参加者：内容は公助と共助だけになっているため、自助も加える必要があると考える。

参加者：「コミュニティで助け合うまち」の内容もまとめのページの内容をベースに修正してほしい。

参加者：「最新技術と地域の絆が結びつき…」の文章に、災害と犯罪以外の有事についても触れてほしい。

参加者：「犯罪被害の無いまち」や「犯罪の抑止」は唐突感がある。

参加者：「テクノロジーと地域で支える」はテクノロジーと地域が対等であるように見える。「テクノロジーで地域を支える」などに修正してはどうか。

参加者：「テクノロジーを利用して地域を支える」も一案であると考えます。

参加者：タイトルにも「人」（住民・区民）を強調したほうが良いと考える。防災を自分事に置き換えることが重要である。自分事に置き換えることは難しいが、港区民ならできる、などというニュアンスを入れると良いのではないか。

参加者：テクノロジーはどの地域でも活用できるが、重要なのは港区として率先して積極的に活用することであると考えます。

### 3 事務局より連絡

事務局より、11月の報告会の案内を行った。

#### 【その他】

- ・稲村さんが分野別将来像の発表を行う。
- ・川鍋さんが全体将来像の発表を行う。
- ・資料の修正案の確認はリーダーに一任する。

(閉会)

リーダーが閉会を告げ、終了。